

地質サイトカード

カードNo.	A-②-6	通しNo.	23	作成日	2024/7/19	
サイト名	半島東端の岬～地蔵崎 <small>じぞうさき</small>					
基本情報	エリア	島根半島 眺望サイト				
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input checked="" type="checkbox"/> 生態	<input checked="" type="checkbox"/> 文化		
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input checked="" type="checkbox"/> 観光・ツアーアクセス		
	所在地	松江市美保関町美保関				
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約28km、約40分。				
	周辺施設	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 売店	<input checked="" type="checkbox"/> 飲食店	<input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(台)	
		<input type="checkbox"/> ウォーキングコース	<input type="checkbox"/> サイクリングコース	<input type="checkbox"/> 観光施設(美保関灯台、美保関灯台ビュッフェ)		
	看板整備	トイレ壁面に1枚設置				
保護・保全	留意点				位置情報	f-2
	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園				
サイトの解説	みどころ	島根半島東端に位置し、“大陸分裂の時代”の地層の上に、山陰最古の美保関灯台が建つ。				
	地質・地形	日本海形成以前の“大陸分裂の時代”の地層(古浦層の砂岩・泥岩・凝灰岩)が露出し、1898(明治31)年に世界の歴史的灯台100選の1つでもある美保関灯台が、海岸に分布する砂岩(森山石と呼ばれる)を使用して建てられた。門扉に使われた森山石は、現在、風化作用によって砂が堆積した約1900万年前の湖岸域の水の流れの様子を示している。				
	歴史・文化生物・生態等	美保関灯台は、2022(令和4)年に国指定重要文化財に指定されており、1998(平成10)年にはIALA(国際航路標識協会)の総会において、歴史的・文化的価値のある文化遺産として「世界の歴史的灯台100選」に選ばれた。 また、海岸沿いの岩上に、絶滅危惧種であるフナバラソウの生育が知られている。				
写真・図等						
参考文献	鹿野和彦・中野俊(1985)美保関地域の地質、島根半島四十二浦巡りの旅、島根の地形・景観・奇岩					